

大腸がん検診のご案内

大腸がん検診は下記のいずれかを受診することができます。

■大腸ファイバー検診 ■便潜血検査

(便潜血検査+内視鏡(S状結腸))

検査方法については、詳しくは裏面をご覧ください。

31歳以上(平成7年4月1日以前生まれ)の方が対象となります。



①大腸ファイバー検診の申し込み(実施期間:6月)

●お電話で申し込みの場合

健康ほけん課 健康づくり班

☎248-1275

お電話の際は「大腸ファイバー検診の申し込み」とお伝えください。

●Webで申し込む場合

右記の二次元コードを読み込み、申し込みフォームを入力してください。



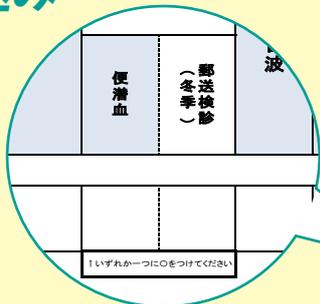
すでに申し込みが始まっています。
お早めに申し込みをお願いします。

申し込み期限
5月9日(金)まで

②便潜血検査の申し込み

同封の検診(健診)申込書の「便潜血」か「郵送検診」どちらか一方に○印を記入します。

※両方の受診はできません



令和7年度 合志市各種検診(健診)一括申込書

住所 〒580-0000 和歌山県和歌山市一丁目1番1号	提出期限												
氏名 姓 山田 太郎 名 太郎 性別 男	年齢 65歳												
健康保険 国民健康保険	所得 100万円未満												
※お住まいの健康保険種別は、お住まいの市区町村のホームページ、あるいは支庁、保健支庁の窓口でご確認ください。 ※この申込書は、健康づくり推進(グループ別)、および障害者の各市区、および支庁、保健支庁の窓口にご提出ください。 ※申込書に記入の情報は、厳密に管理いたします。													
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">がん検診</th> <th colspan="2">検診方法</th> </tr> <tr> <td>便潜血検査</td> <td>郵送検診</td> <td>大腸ファイバー検診</td> <td>検診実施日</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>2025年1月</td> </tr> </table>	がん検診		検診方法		便潜血検査	郵送検診	大腸ファイバー検診	検診実施日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2025年1月	
がん検診		検診方法											
便潜血検査	郵送検診	大腸ファイバー検診	検診実施日										
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2025年1月										

※便潜血検査は、採便容器や検便を郵送するための返送用封筒(切手不要)などを同封した検診セット(大腸がん検診のみ)を送付します。郵送検診の受診期限内に、採便し郵送にて提出ください。

和歌山県和歌山市健康づくり課 TEL 096-248-1275

大腸がん検診項目の「便潜血」欄に○印を記入する場合

9月・10月にがん複合検診で受診

(検診会場で検便提出)

8月に検診(健診)の日時などのお知らせと採便容器などの検診セット(他の検診セット含む)を送付します。
指定された日時にごがん複合検診会場へ検便をご提出ください。

大腸がん検診項目の「郵送検診」欄に○印を記入する場合

来年1月の郵送検診で受診

(冬季に郵送で検便提出)

来年1月に採便容器や検便を郵送するための返送用封筒(切手不要)などを同封した検診セット(大腸がん検診のみ)を送付します。郵送検診の受診期限内に、採便し郵送にて提出ください。

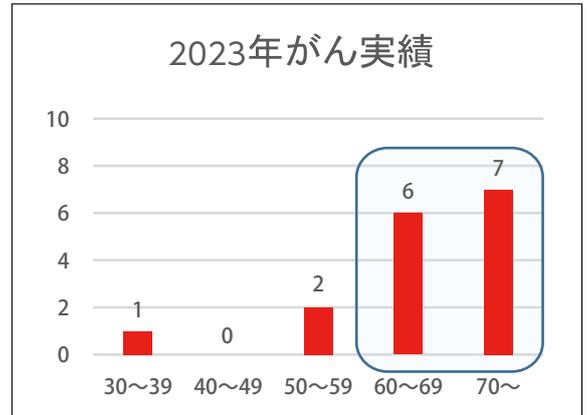
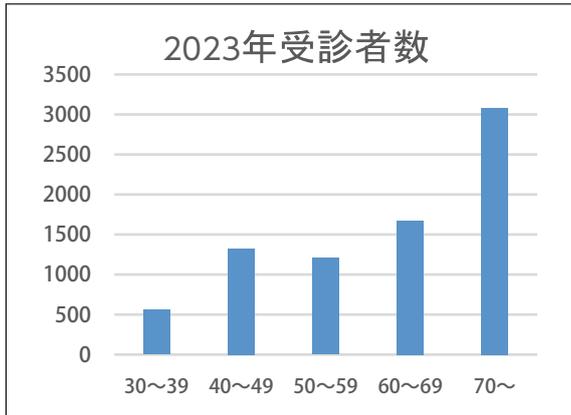
無料クーポン券対象者 ※検診を受診希望の方は、必ず検診の申し込みをしてください。

検診項目	対象	備考
大腸がん検診(便潜血検査)	年度末年齢 41歳、46歳、51歳、56歳、61歳	クーポン券の送付はありません。 検診時、支払いが無料になります。

裏面もご覧ください

年に1回の大腸がん検診を!!

●2023年合志市大腸がん検診実績 7,839名

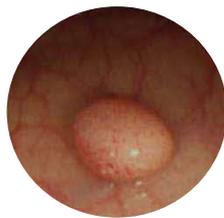


大腸がん検診を受診された方のうち、60代以上の方にがんが多く見つかっています。
がんを早期発見するためには、30代から検診を受ける習慣をつけましょう!

その理由は…

大腸がんの特徴

- 1 他のがんに比べ発育がゆっくり。
- 2 自覚症状が出にくい。
- 3 早期発見なら内視鏡で治療できる。



大腸ポリープ



大腸早期がん



大腸進行がん

5年~10年かけて進行

大腸がん予備軍の可能性のある40代、50代の積極的な受診が必要です。

自覚症状がないうちに大腸がん検診を!!

便潜血検査(食品衛生法で定められた便検査とは異なります)

■ 便潜血検査は、大腸からの出血が便に混じっていないかどうかを調べ、大腸がんのリスクがある人をふるい分ける検査です。基準値よりも多く血液が混じっていた場合、判定は「陽性」となり、大腸全体の精密検査が必要となります。

大腸ファイバー検診(便潜血検査+内視鏡(S状結腸))

■ 内視鏡(S状結腸)検査は、大腸がんの最も発症しやすい直腸とS状結腸(全体の約70%)を直接カメラで見っていく検査です。便潜血検査では発見しにくい出血の少ないポリープや早期がんの発見に威力を発揮します。(鎮静剤は使用しません)

お問い合わせ

合志市役所
健康ほけん課 健康づくり班
TEL096-248-1275

大腸肛門病センター高野病院
総合健診センター 検診課
TEL096-320-6510